



NNA PHILIPPINES CO., INC.

Address: Unit2006, 88 Corporate Center, 141 Valero Corner Sedeno Street, Salcedo Village, Makati City Tel: 02-753-3515 Fax: 02-753-3517 E-mail: sales\_ph@nna.asia

MCI(P)045/04/2013

## 少子化に向け比人技術者を採用 六興電気、設備工事などに投入

マンションの電気設備工事などを手掛ける六興電気（東京都港区）がフィリピン人とベトナム人の技術者採用に乗り出す。それぞれ年間2～3人ずつ確保する方針で、就業ビザを取得させ、日本に派遣する。日本語の習得に加え、現場の監督業務などを任せる考え。少子高齢化が進む日本では大卒者の減少が見込まれることから、人材の安定確保と多様化を通じて組織の活性化を図る。

フィリピンでは年齢が35歳までで、大学で電気工学を専攻した後に取得できる国家資格「レジスタード・エレクトリカル・エンジニア」を持つ人材を採用する。坂本孝行取締役は、同資格を「マネジメント業務が可能という『技術担保』のようなもの」と捉えている。

実務経験も5年以上求める。待遇は日本人と同様で、採用したフィリピン人は日本語学校で日本語を学んだ

のち、東京でオフィス業務と並行して日本語学校に3か月間通う。六興電気は学校指定の教材ではなく、職人に指示を出す場面などを想定し、独自に編集した実践形式のカリキュラムを履修させる考え。地場の人材派遣会社を通じて毎年2～3人の確保を予定しており、早ければ来月にも初のフィリピン人社員が誕生するという。

当初の配属先は米軍関連工事業となる。同事業では

米軍の施工品質管理制度や安全基準に加え、英語力などが必須。フィリピン人は言語で条件に合い、基地内に同国出身者が従事していることなど環境面で適している。坂本取締役は、「将来的には日本のマンションの電気設備工事の現場監督などを任せていきたい」と話す。

### 大卒者が減少傾向に

少子高齢化が進む日本では、2018年以降に大卒者が大幅に減少するとされる。六興電気は高卒者を含め毎年約30人を採用してきたが、坂本取締役は「10～20年後を考えると、新卒卒全てを日本人で確保するのが難しくなる」と話す。

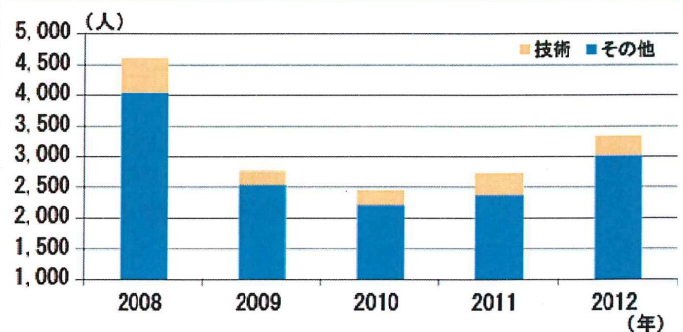
同社は既に女性や高齢者、文系出身の大卒者など人材の多様化を進めており、今回の外国人の採用もその一環。坂本取締役は、「徒弟制度が色濃く残る建設業界で外国人が働くのは難しいが、電気工学関連などの知識面では日本人と比べても遜色ない」との見方を示した。

### ベトナム人も採用

フィリピン人と同様、ベトナムでも毎年2～3人を採用する予定で、6～7月をめどに面接を開始する。坂本取締役は、ベトナムは日本語教育に力を入れているほか、卒業条件に「TOEIC 600点以上」を求めている大学があるなど、学生の語学教育に熱心なことが採用を検討した背景にあると述べた。タイも考えたが、失業率が低く、人材の確保が難しいと判断した。

### 就業ビザ発給は3千件超

フィリピン人への就業ビザ発給件数



出所：日本外務省

外国人が日本で働くには就業ビザ（査証）の取得が必要となる。電気設備工事などは「技術」の在留資格が必要で、日本政府は「対象業務についての技術や知識に関する科目を専攻した大卒生」あるいは「10年以上の実務経験」などの要件を定めている。

日本の外務省によると、フィリピン人への就業ビザ発給件数は2012年時点で3,338件と、国・地域別では5番目。このうち、「技術」の在留資格の発給件数は314件で、中国、インド、ベトナム、米国に次ぐ規模となっている。

発行元 株式会社エヌ・エヌ・エー  
http://www.nna.jp